

2023 年度 事業報告書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

I 2023 年度事業実施の方針（2023 年度事業計画より）

2023 年度の事業計画の柱は、ユニバーサル・ホスピスマインドの社会実装の礎をつくることにあります。

団塊の世代がいよいよ後期高齢者になりつつある時代を迎え、日本の年間死亡者数は 150 万人を越えました（2022 年 156 万人、厚生労働省発表）。独り暮らし世帯も増え、孤独・孤立問題も顕在化してきました。行政・自治体だけで社会課題を解決することは困難であり、地域の担い手が必要になります。エンドオブライフ・ケア協会は、いのちの限られたホスピスの現場で培った対人援助のエッセンスから、解決できない苦しみを抱えた人に関われる担い手を育成する活動を展開してきました。その活動範囲は、医療・介護の現場にとどまらず、地域で解決困難な苦しみに関わるすべての担い手づくりに展開できる可能性を持ちます。

マッチ 1 本の火は、息で吹き消すことができます。しかし、部屋に広がった火は、バケツ 1 杯の水でも消すことができません。人の痛みも、小さなうちに、関わる担い手がすぐそばにいたならば、社会は変わっていくかもしれません。半径 5m の誰かに気づき関われる担い手を、それぞれの地域で増やしていく、社会実装してくために、皆様の力を借りながら、活動を広げていく予定です。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

代表理事 小澤 竹俊

II 2023年度の成果

1. 各事業について

(1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成

期初計画
<ul style="list-style-type: none">◇ 超高齢少子化多死時代に備え、看取りを含めた解決困難な苦しみに対応できる人材を育成することを目的として、2015年7月から「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」(以降、養成講座)を開催してきた。◇ 2023年度は、少人数の現地会場参加とオンラインとのハイブリッド開催を企画する。また、各地域での参加しやすさに鑑み、各地の認定 ELC ファシリテーターと連携しながら、インハウス開催を検討していく。◇ これらのプログラムを必要とする人が、講座に容易にアクセスできるように、申し込みシステムを刷新してきたが、2023年度は表側のデザインを含めた改修を行っていく。
実現したこと (詳細は、P9-10 参照)
<ul style="list-style-type: none">◇ エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座は、前年度が公開講座 19 回 336 人、インハウス開催 4 回 187 人であったところ、今年度は増加して、22 回 367 人、6 回 241 人となった。インハウス開催は、長崎、鈴鹿、和歌山、沖縄、愛媛の各地で開催したほか、企業向けとして、SOMPO ケア株式会社の介護プライドマイスター3 期生向けにオンラインで開催した。◇ 養成講座の開催にあたっては、全国の認定 ELC ファシリテーターと綿密に連携を図った。小グループに分かれてのロールプレイや事例検討等を進行する役割を担っていただきながら、参加者の学びを支援いただいている。
課題
<ul style="list-style-type: none">◇ 対面での開催分に参加する方が少しずつ増え、オンライン開催の利便性にも鑑みて、ハイブリッド開催を続けてきた。学びへの向かいやすさと交流しやすさを考えると、開催回ごとに対面とオンラインを分けたほうがよいのではないかと考えている。◇ 医療介護業界の研修参加が依然難しい状況にある。研修受講への機運はまだ十分に回復していないと考えられる。◇ 課題や講座の認知度とアクセシビリティも依然低いため、強みの言語化と業界内外への発信を引き続き強化する。

(2) 職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動

期初計画
<ul style="list-style-type: none">◇ 各地の認定 ELC ファシリテーターや「折れない心を育てる いのちの授業」認定講師がそれぞれのコミュニティでオンラインを含めて活動ができるように支援する。認定 ELC ファシリテーターと引き続き綿密な連携を図り、主催する講座やイベントでの活動を通してスキルアップをサポートする。

- ◇ 特定地域において、希望する場所で最期まで暮らせる体制づくりとして、現地人材と協働のもと、施設等の人材育成と地域福祉関係者との協力体制づくりを推進していく。また、地域には様々な困りごとや、すでに活動している人たちがいるなかで、エンドオブライフ・ケア協会を分母とせず、目指すゴールを共有しながら、地域福祉の視点で連携し、各地の認定 ELC ファシリテーターと連携を図っていく。

実現したこと

- ◇ 2023 年度は新規認定 ELC ファシリテーターが 16 人認定となった。また、ファシリテーターによる地域学習会の参加者は、対面とオンラインで 4,245 人であった。
- ◇ 継続して開催してきたオンラインでの養成講座やイベント等が、ファシリテーターのスキルアップにつながり、個人のモチベーションアップに留まらずコミュニティ強化にもなっていることが伺える。
- ◇ 2022 年度に、日本労働者協同組合ワーカーズコープと「地域で暮らす一人ひとりの尊厳を守り、支え合う地域づくりのための提携」として協定書を締結しているが、2023 年度は周年行事に田中羊子理事長をお招きして講演いただいたり、これをきっかけに、ELC 沖縄として活動する法人を視察にお越しいただきするなど、相互交流が生まれた。また、組合員の方々や地域住民の方々を対象として、ユニバーサル・ホスピスマインドを学ぶ学習会を企画いただき各地へ伺った（長野県上田市、北海道恵庭市など）。

課題

- ◇ 対面での開催が増えてくるなかで、対面であればとの参加してくださるファシリテーターも少なくない。オンラインを機に疎遠になっているファシリテーターや、一方で、きっかけをもとに参加してくださるファシリテーターがいるため、個々の状況に応じて案内していく。
- ◇ エンドオブライフ・ケア協会を分母とせず、地域には様々な困りごとや、すでに活動している人たちがいるなかで、目指すゴールを共有しながら、地域福祉の視点で連携していく。

(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化「折れない心を育てる いのちの授業」

期初計画

- ◇ ホスピスや在宅医療の現場から学んできた、「答えのない、自分や他者のここらの問題との向き合い方」を、今を生きる子どもたちへ届けるために、2000 年から代表理事が 1 人で始めた学校への出前授業「いのちの授業」。2019 年から本格的に講師育成を開始し、現在は、オンラインのみで、講師トレーニングから認定後の継続学習まで行い、全国から参加が可能となっている。
- ◇ 2022 年度に引き続き、講師を育成し、各自が対面ないしオンラインで授業が実施できるよう推進する。講師トレーニングはオンラインで年間 3 回開催。4 か月ごとのサイクルで、受講・評価・認定プロセスを運用する。
- ◇ また、認定後、講師が自信を持ってオンラインなどで授業を実施できるようになったり、学校等の場へ提案に伺えるようになったりすることを目指し、認定講師がお互いの経験から学び合える学習会を毎月開催する。その企画・運営も、認定講師が主体となって行えるようサポートする。
- ◇ 認定講師が活躍できる場を増やしていくべく、エンドオブライフ・ケア協会からも各所へ働きかけていく。特に、特定地域において学校や自治会や NPO 等とまちづくりの視点で面での展開を試行する。
- ◇ なお、持続的な運用に向けては、教材の拡充、プロモーションも重要であると考えたとき、今後は活動資金の確保が大きな課題となる。寄付、助成、企業連携等の可能性を検討する。

実現したこと（詳細は、P9-10 参照）
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 講師トレーニングは、実施回数を 4 回から 3 回としたことで、参加者が前年度 118 人から 91 人に減少した。一方で、講師認定者は 25 人から 30 人に増加。認定講師による授業に参加した人の数は、全国 15,657 人であった。 ◇ コロナ禍から引き続き、子どもたちの自他を傷つける言動が報告されるなか、大阪市教育委員会と連携し、2023 年度も市内小中学校から依頼を受けて出前授業を多数実施した。大阪市のみで 1 年間で 34 校 73 クラス、2,719 人への実施となった。 ◇ 毎月 15 日に講師同士の学び合いの会を有志の認定講師主催で継続開催し、少しずつプレゼンテーションの練習、フィードバックと、テーマに基づく対話を繰り返してきたことで、いざ声がかかったときに挑戦する人が増えた。 ◇ また、認定講師が独自の繋がりをもとに、特定地域で広がりを見せている（沖縄市、鹿児島市、霧島市、奈良市、三原市、ほか）。学校に限らず、地域コミュニティの様々な場所、たとえば、幼稚園、学童保育、病院などでも、対面やオンラインでの授業実施について報告があった。
課題
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 実績をもとにした他地域への横展開 オンラインを含めて、認定講師がそれぞれの地域で活動できるように、Facebook グループや月 1 回の学習会などで、活動の場づくりに関わる情報交換を行っていく ◇ 経験を重ねフィードバックし合える仕組み ◇ 教材の拡張、学校案件のコーディネート、プロモーション等に関わる財源の獲得

（４）社会課題と活動への関心を育む取り組み

期初計画
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 2023 年度も、学会・研究会等における教育講演、ポスター発表等を通じて活動成果を可視化していく。 ◇ 活動の関係人口を増やす上で、共通のゴールを目指す様々な他団体との連携や、これまで十分に活用できていない媒体を通して、医療・介護業界に留まらず発信していく。
実現したこと
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 論文掲載（活動報告） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小澤 竹俊, 千田 恵子, 久保田 千代美, 濱田 努. スピリチュアルケアのエッセンスを学校に届ける「折れない心を育てるいのちの授業プロジェクト」：コンパッション・コミュニティの実現に向けて, 緩和医療学会「Palliative Care Research」Vol.18 No.4, 2024 年 12 月. ◇ 学会・研究会等 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小澤 竹俊. スピリチュアルケアを学べる在宅クリニックの重要性, 第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会 一般演題（ポスター）高齢者・緩和ケア・在宅医療②, 2023 年 5 月. ➤ 小澤 竹俊. ACP の課題とその対策～看取り対応として見捨てないための関わり方を学ぶ研修～, 第 5 回日本在宅医療連合学会大会 ポスター発表, 2023 年 6 月 ➤ 小澤 竹俊. コンパッション都市実現に向けて、私たちは何ができるのか？～ユニバーサル・ホスピスマインドを社会実装する可能性を探ろう～, 第 28 回日本緩和医療学会学術大会 交流集

会, 2023年6月.

- 小澤 竹俊. ユニバーサル・ホスピスマインドを社会実装する試み～コンパッション都市実現に向けて、ワーカーズコープとエンドオブライフ・ケア協会のコラボレーション～, 第28回日本緩和医療学会学術大会 ポスター発表, 2023年6月.
- 小澤 竹俊. 解決できない苦しみにも関われるユニバーサル・ホスピスマインドが医療プロフェッショナルリズムを発展させる, 第55回日本医学教育学会大会 ポスター発表, 2023年7月.
- 小澤 竹俊. 在宅医療のニューノーマル～ユニバーサル・ホスピスマインドをすべての人生のそばに～, 日本医療マネジメント学会 第13回新潟県支部学術集会 基調講演, 2023年9月.
- 小澤 竹俊. 地域包括ケアの担い手を育成するために～死を前にした人にあなとは何ができますか?～, 第44回日本死の臨床研究会年次大会 教育講演, 2023年11月.
- 小澤 竹俊. 介護者のためのエンドオブライフケア, 第44回日本死の臨床年次大会 ワークショップ, 2023年11月.
- 久保田 千代美. ポスター発表, コンパッションネート・コミュニティを目指したELC奈良地域学習会の活動～解決できない苦しみを共に感じ誰もが共通の言葉で語れる事例検討～, 第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, d d d 2023年5月.
- 久保田 千代美. パネルディスカッション「折れない心を育てるいのちの授業」でコンパッションネート・コミュニティをめざしたまちづくり, 第5回日本在宅医療連合学会学術大会, 2023年6月
- 久保田 千代美. 交流集会 企画 苦しなくても穏やかになれるわたしへのケア, 日本エンドオブライフケア学会第6回学術大会, 2023年9月.
- 久保田 千代美. 口演発表 COVID-19のなか留まることなく繋がる「暮らしの保健室なら」の活動～コンパッションネート・コミュニティを目指して～, 第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 仙台大会, 2023年10月.
- 久保田 千代美. コンパッションネート・コミュニティと在宅 口演発表座長, 第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 仙台大会, 2023年10月.
- 久保田 千代美. 妻を亡くした夫へのグリーフケア～在宅ケアで食べることを支えた夫たちの対話から生じる新たな支え～, 第44回日本死の臨床研究会年次大会愛媛, 2023年11月.
- 千田 恵子. How do we talk about dying? (Kathryn Mannix), 第28回日本緩和医療学会学術大会 海外招待講演座長, 2023年6月.
- 千田 恵子. なぜコンパッション都市・コミュニティなのか? (Compassionate Communities-UK Julian Abel), コンパッション都市・コミュニティ: 英国での動向 (CCUK Emma Hodges), 第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会 プレ大会パート2 通訳, 2023年8月.

◇ 研究

- 終末期患者が抱く他者への負担感軽減に向けた援助的コミュニケーション教育の検証 養成講座の教育効果検証に関わる研究が、千葉宏毅氏（北里大学医学部医学教育研究部門助教）を中心に2018年から行われており、当協会として協力している。

◇ メディア出演・掲載（一部）

当協会理事に限らず、認定 ELC ファシリテーター/折れない心を育てる いのちの授業認定講師が、それぞれの地域における活動を新聞、雑誌等に取材いただいたり、テレビ、ラジオ等のメディアに出

演したりしたという報告が複数寄せられた。

- 『琉球新報』「聴く力」で心に寄り添う浦添介護福祉士会「いのちの授業」（2023年4月15日）
- 『灯台』（第三文明社）2023年4月～2024年1月号
- 『毎日新聞』滝野隆浩の掃苔記「半径5メートルの人」の幸せ。（2023年4月30日）
- 『日本労協新聞』ワーカーズコープ協定締結6団体による地域づくりに向けた座談会（2023年6月5日）
- 『静岡新聞』第1回コンパッションタウンミーティング in 松崎（2023年6月8日）
- 『J:COM チャンネル』小学生への出前授業，津野 采子さん（2023年7月1日）
- 『ウェブ電通報』やさしい世界を、アイデアで。クリエイティブユニット「やさクリ」（2023年6月30日）
- 『タウンニュース』神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙 さがみはら中央区版 薬剤師の有賀さん「自分を認め大切に思って」（2023年7月6日）
- 『スズケン メディカル』（SUZUKEN GROUP）「弱さを認め、力を尽くす」（2023年8月号）
- 『ミニコミ紙れじおん』，ELC 札幌（2023年9月15日）
- 『朝日新聞デジタル』宮崎響さん（2023年9月16日）
- 『朝日放送』おかえり 宮崎響さん（2023年9月26日）
- 『デンタルハイジーン』第43巻10号 連載 歯科が人生の最終段階にどうかかわるか～最期まで口の尊厳を守るために（2023年10月発行）
- 『FM わっぴー』千田恵子（2023年10月4日）
- 『致知電子版』特集：幸福の条件 幸福な生き方と死に方（2023年11月号）
- 『stand.fm』原信太郎先生（2023年10月6日）
- 『女性セブン』（株式会社小学館）看取りの専門家だけが知っている「人が死の間際に後悔すること」（2023年11月23日号）
- 『タウンニュース』瀬谷区版 下瀬谷中学校 医師がいのちの授業 144人が人生を学ぶ（2023年12月6日）
- 『タウンニュース』瀬谷区版 自身の医療体験をもとに、「いのちの授業」を子どもたちに実施する 小澤 竹俊さん（2023年12月14日）
- 『東洋経済 ONLINE』名医が教える「余命わずか」で後悔しない4か条 車椅子生活を余儀なくされた人が気づいた幸せ（2023年12月15日）
- 『ライフハッカー』その苦しみは「解決できるものか、解決できないものか？」まず考えると悩まない（2023年12月25日）
- 『東洋経済 ONLINE』今すぐ断捨離すべき人間関係「3つのパターン」人と関わりながら生きるか、孤独に生きるか（2023年12月27日）
- 『ダヴィンチ』（2024年2月3日，8日）
- 『プレジデント』（2024年2月12日）
- 『いのちのことば』（いのちのことば社）2024年3月号
- 『タウンニュース』瀬谷区版 エンディングノートを学ぶ（2024年2月22日）
- 『女性セブン』（株式会社小学館）看取りのプロは知っている『死ぬ瞬間に後悔するのは「家族のこと』 2024年2月29日・3月7日号
- 『毎日新聞』滝野隆浩の掃苔記（2024年3月3日付）

- 『news おかえり』ABC テレビ【医療的ケア児】10万人に1人の病気で寝たきりの少女と突然体が動かなくなった少女 2人の夢と大きな壁, 宮崎響さん (2024年3月21日)
- 『日刊宗谷』・『北海道新聞地方版』苦しいとき どう対処 中頓別中 町教委が「いのちの授業」, 室田ひろみさん (2024年3月27日)
- 『大阪保険医雑誌』(大阪府保険医協会) 特集”メメント・モリ (死を想え)” 折れない心を育てるいのちの授業 (2024年3月号)
- 『小児内科』(東京医学社) 第56巻 第3号<2024年3月号>これからの学校医 ~健康教育・いのちの授業
- 『日本労協新聞』協同労働・よい仕事研究交流会 記念講演, 親泊朝光さん (2024年3月25日)

◇ その他

- actcoin 2022~2023年公式イベントパートナー最多コイン獲得、殿堂入り

課題

- ◇ 「子ども」「地域」領域における研究のテーマ設定、ならびに相談先、予算の獲得

(5) 現役世代 / 将来世代の「もしも」に備える

期初計画

- ◇ 職種を問わず、対人援助に関心のある方であればどなたでも参加できる機会として、問いをベースにした対話型オンラインイベント「ユニバーサル・ホスピスマインドをもとに最強のチームを作ろう」を、今年度も毎月第三火曜日に開催していく。
- ◇ さらに、将来世代が活動に関心を示し、自発的に学べる機会を応援すべく、認定 ELC ファシリテーターや認定講師が繋がりを持つ専門学校や大学等において、自主的な学習会をサポートする。

実現したこと (詳細は、P9-10 参照)

- ◇ 最強チームイベントシリーズでは、問いをもとに対話するコミュニティとして、昨年度は異分野の方も多くゲストに迎えて開催、12回 753人の参加があった。
- ◇ はじめての方も医療介護従事者に限らず参加いただき、特に認定 ELC ファシリテーターの場づくりにより、安心して参加できた、他の人が話すことを聴くうちに想いが沸き上がってきた、などの声を多くいただいている。
- ◇ また、専門職種としてこれから現場の一翼を担う学生への教育を重要な活動の一つと捉え、医学部教育(卒前・卒後教育)における対人援助のプログラムとして、2023年度には、以下6つの医学部で講義を行った。長崎大学医学部、愛媛大学医学部、昭和大学医学部、東京医科大学医学部、北里大学医学部、慈恵医大医学部
- ◇ 琉球大学では、ユニバーサル・ホスピスマインドを学ぶ学生主体のサークルが立ち上がっており、継続学習が行われている。また、折れない心を育てるいのちの授業 認定講師が次々と誕生している。

課題

- ◇ 新たな関係者との連携
- ◇ 医学教育(卒前・卒後教育)への関わり、継続的なつながり

2. 法人運営について

(1) ホームページのリニューアル

2022年度に行ってきた、強みと価値観の言語化（ユニバーサル・ホスピスマインド）や、活動の広がりに伴って複雑化しているホームページと裏側のシステム周りの情報整理を踏まえ、2023年度は1年間かけて、ユーザーのインターフェースとなるホームページのデザイン改修を行ってきた。情報量が多いため、完全には移行が完了していない。次年度も段階的に更新していく。

(2) プロボノとの協働・伴走支援

関係人口の拡大に向けて、プロボノに協力を求めてきた。2023年度は、次年度に向けて3つのプロジェクトの支援が確定した（企業プロボノ2件、マンスリーサポーター募集伴走支援1件）。

III 事業の実施状況

事業名/活動内容	計画			実績			
	実施場所	回数	人数	実施日	実施場所	回数	人数
(1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成						22	367
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」 (公開講座)：週末	オンライン/ 各地域	20	400	2023/4/23	東京/オンライン		20
				2023/4/30	札幌/オンライン		19
				2023/6/4	大阪/オンライン		37
				2023/7/17	福岡/オンライン		22
				2023/7/23	横浜/オンライン		21
				2023/8/20	名古屋/長崎佐世保/オンライン		28
				2023/9/18	大阪/オンライン		16
				2023/10/9	東京/オンライン		24
				2023/10/22	福岡/オンライン		16
				2023/11/12	札幌		14
				2023/11/19	名古屋/オンライン		22
				2023/12/23	東京		18
				2024/1/21	東京/オンライン		21
				2024/1/27	名古屋		10
				2024/2/18	大阪/オンライン		22
				2024/3/24	福岡/オンライン		19
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」 (公開講座)：平日夜間	オンライン			2023/5/11	オンライン		8
				2023/7/5	オンライン		7
				2023/9/7	オンライン		7
				2023/11/1	オンライン		3
				2024/1/11	オンライン		7
				2024/3/7	オンライン		6
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」 (インハウス)	オンライン/ 各地域	4	160	2023/5/21	長崎		55
				2023/8/19	鈴鹿		34
				2023/8/27	和歌山		35
				2023/11/4	SOMPOケア第3期 (オンライン)		55
				2023/12/2	沖縄		27
				2024/2/25	愛媛		35
「認定エンドオブライフ・ケア援助士」の認定	オンライン	通年	100	通年	-	-	75
「看取り期のコミュニケーション」	-			2024/1/13	東京	2	23
				2024/3/3	大阪		14
世代を超えて継承していく「わたし」～はじめてのディグニティ・セラピー～	-	-	-	2024/1/8	横浜	1	22
死別後の悲しみとともに生きる（グリーンフ）	-	-	-	2023/7/15	オンライン	2	25
				2024/2/3	オンライン		6

事業名/活動内容	計画			実績			
	実施場所	回数	人数	実施日	実施場所	回数	人数
(2) 職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動							
「認定ELCファシリテーター」の認定・更新	オンライン	通年	15	通年	事業所	-	16
地域学習会（認定ELCファシリテーターによる学習会）	オンライン/ 各地域	通年	3,000	通年	オンライン/各地域	-	4,245
(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化～「折れない心を育てる いのちの授業」～							
講師トレーニング	オンライン/ 各地域	3	100			3	91
				2023/5/7	オンライン		28
				2023/9/3	オンライン		28
				2024/1/20	オンライン		35
講師の認定	オンライン	3	30	年3回	-	-	30
認定講師の学び合い	オンライン	12	360	年12回	-	12	-
認定講師による各地での授業	オンライン/ 各地域	通年	15,000	通年	オンライン/各地域	-	15,657
(4) 社会課題と活動への関心を育む取り組み							
研究・学会発表・論文投稿	-	-	-				
小澤 竹俊, 千田 恵子, 久保田 千代美, 濱田 努. スピリチュアルケアのエッセンスを学校に届ける「折れない心を育てるいのちの授業プロジェクト」：コンパッション・コミュニティの実現に向けて, 緩和医療学会「Palliative Care Research」Vol.18 No.4, 2024年12月. ほか	-	-	-				
メディア掲載・出演	-	-	-				
琉球新報 (2023/4/15)							
毎日新聞「滝野隆浩の掃苔記」(2023/4/30)							
日本労協新聞 ワーカーズコープ協定締結6団体による地域づくりに向けた座談会 (2023/6/5)	-	-	-				
静岡新聞 (2023/6/8)							
J:COMチャンネル (2023/7/1) ほか							
(5) 現役世代 / 将来世代の「もしも」に備える							
設立8周年シンポジウム	横浜/ オンライン	1	300	2023/4/16	横浜/オンライン	1	252
「ユニバーサル・ホスピスマインドをもとに最強のチームを作ろう」	オンライン	12	600			12	753
第188回がん当事者として大切にしてきた「話を聴くこと・伝えること」(上野創さん)				2023/4/18	オンライン		53
第189回在宅医療にかける熱い想いはどのようにして生まれたのか?(佐々木 淳さん)				2023/5/16	オンライン		104
第190回大人は、子どもの夢を奪っていませんか?(宮崎響さん)				2023/6/20	オンライン		69
第191回相談支援における「害のない存在」とは?(中島かおりさん)				2023/7/18	オンライン		41
第192回となりのかいご(川内潤さん)				2023/8/15	オンライン		47
第193回認知症当事者の声から私たちは何を学ぶのか?(丹野智文さん)				2023/9/19	オンライン		90
第194回年齢を理由に賃貸住宅を断られない社会を目指す(R65不動産 山本遼さん)				2023/10/17	オンライン		50
第195回あなたも誰かのサンタクロース～見えづらい苦しみに気づくには?(チャリティーサンタ 清輔夏輝さん)				2023/11/21	オンライン		45
第196回特別編あなたのまちのユニバーサル・ホスピスマインド				2023/12/19	オンライン		68
第197回なぜ音楽は人を癒す力を持つのか?(リリムジカ 代表取締役 柴田 萌さん)				2024/1/16	オンライン		48
第198回『インテンス・ケアリング』から学ぶ尊厳を守る援助				2024/2/20	オンライン		78
第199回『インテンス・ケアリング』から学ぶ尊厳を守る援助2				2024/3/19	オンライン		60
学生とのネットワーキング				通年	-		
(6) 日本財団助成事業：在宅看取り向上のための体制づくり(3年目)							
1. 援助者養成研修の実施(リンクスタッフを対象とした全体研修)				2024/5/31			28
2. ネットワークづくり				2023/6~2023/12			115
3. 実践編研修(リンクスタッフの各所属施設での研修)	唐津			2023/11/6~30	唐津		203
4. 評価・報告(最終報告会を含む)				2024/3/23			35

以上